

堺市と「産業振興連携協力協定」を締結

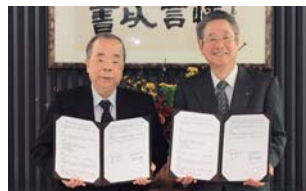
当行と堺市は、中小企業振興を核とした、堺市経済の持続的発展を目指し、平成23年3月11日に「産業振興連携協力協定」を締結しました。当行の持つ産学官のネットワークやノウハウを生かし、堺市の産業振興策と連携して、様々な取組を実施してまいります。さらに、今回の協定を機に、当行では「堺市産業振興ファンド」を創設しました。また、5月27日には、相互の連携により「協定締結記念シンポジウム」を開催しました。今後も、ビジネス商談会や海外進出セミナーの開催等を実施していく予定です。なお、当行も堺市もこのような包括的な協定を締結することは初めてです。



服部頭取兼CEO 竹山 堺市長

近畿大学、龍谷大学、和歌山大学と「産学連携協定」締結

平成23年2月24日に近畿大学と、3月8日に龍谷大学と、そして、5月24日に和歌山大学と相次いで「産学連携協定」を締結しました。これにより連携協定締結の大学は10校となりました（これまでに関西学院大学、甲南大学、同志社大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、関西大学と締結）。これからも当行は産学連携ネットワークを活用し、地元経済発展のお役に立てまいります。



近畿大学 畑学長



龍谷大学 若原学長



和歌山大学 山本学長

「京都支店」、「大阪支店・本町支店」が相次いで移転オープン

平成23年3月28日、「京都支店」が地下鉄丸丸線と東西線が交差する「烏丸御池駅」近くに、より広くより便利になって移転オープンしました。また4月11日には、「大阪支店」と「本町支店」の2つの店舗が「地下鉄本町駅」近くの同じビルに移転し、同一フロアで営業を開始しました。いずれも、ゆっくりご相談いただけるスペースやセミナールームを設置しております。



京都支店



大阪支店・本町支店

中国・蘇州市の周副市長一行が来行

平成23年2月23日に、中国蘇州市の周偉強副市長一行が当行を訪問されました。21年の閻立市長、22年の張躍進副市長に続く訪問となり、日本の地方銀行で唯一、蘇州市に駐在員事務所を開設している当行と同市の友好関係を一層深めることとなりました。蘇州市へは、これまでに160名を超える当行役職員を経済視察団として派遣してきました。今後も研修生の派遣等を積極的に進め、お客様のアジア・チャイナ・ビジネスへの対応力・サポート力を強化してまいります。



第18回泉州国際市民マラソン開催

平成23年2月20日、「第18回泉州国際市民マラソン」が開催されました。堺市の浜寺公園をスタートし、泉佐野市のりんくう公園をゴールとする、日本陸連公認のフルマラソンコースに2,878人の選手が出場、総合優勝者には、「池田泉州銀行 頭取杯」が授与されました。当日は、当行の行員約160名もボランティアの一員として参加するなど、特別協賛企業として積極的に応援しました。



「日本の元気」を取り戻すため復興応援に取り組んでいます

このたびの東日本大震災の被災地の復興に役立てていただくため、「復興応援定期預金」を発売しました。お客さまよりお預入れいただいた金額の0.1%相当額を当行の負担により日本赤十字社を通じて義援金として寄贈いたします。お取扱いは、平成23年9月30日まで。また、今回の震災により、直接・間接を問わず経営に影響を受けた法人および個人事業主の皆さまを対象に、「復興応援融資」をお取り扱い。さらに、堺市との「産業振興連携協定」に基づく「堺市震災緊急資金融資」も創設しました。「日本の元気」は、「関西の元気」から！日本の元気を取り戻すために、当行も微力ながら復興を応援すべく取り組んでまいります。



このたびの「東日本大震災」で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。当行は、被災地の復興に役立てていただくため、義援金2,000万円とグループ役員からの募金1,307万円、あわせて3,307万円を日本赤十字社を通じて寄贈いたしました。今後も様々なかたちで復興を応援すべく取り組んでまいります。

創業60周年記念定期預金キャンペーン実施

本年創業60周年を迎える当行は、皆さま方の永年のご愛顧に感謝して「創業60周年記念定期預金キャンペーン」を実施しています。キャンペーン期間中に、窓口で新たに30万円以上の対象定期預金をお預入れいただいたお客さま、先着10万名様に当行オリジナル「ファミリアのクーラーバッグ」をプレゼント。さらに抽選で、特賞・60周年賞など豪華な賞品が合計4,000名様に当たります。お取扱いは、平成23年9月30日まで。詳しくは、窓口のチラシもしくはホームページをご覧ください。



自然環境保全活動に当行の行員と家族が参加

平成23年2月27日に開催された「第8回・共生の森植樹祭」に、植樹ボランティアとして、当行の行員とその家族が参加しました。「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で「森づくり」を進めているもので、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物が生息する大規模な「ピオトープ」を創造していこうという取組みです。これからも地元銀行として、地域社会のお役に立つよう様々な活動を行ってまいります。

